

## ◎ 展示会・イベント情報

### 1. 「テーブルウェア・フェスティバル 2020 ～暮らしを彩る器展～」開催

日本各地の窯元の作品や世界各国の陶磁器をはじめ、ガラス、漆器、木工品など、食卓を彩る様々なテーブルウェアが一堂に会する日本最大級の器の祭典「テーブルウェア・フェスティバル 2020」が、2月2日(日)～2月10日(月)まで、東京ドームで開催されます。

多様なライフスタイルを表現するテーブルセッティングの展示や、日々の暮らしに彩りを添える逸品に出会える販売コーナーを中心に、13万点以上もの商品が東京ドームに並びます。

日時： 2020年2月2日(日)～2月10日(月)  
10:00～19:00  
[初日は11:00～/最終日は18:00まで]  
入場は閉場の1時間前まで  
会場： 東京ドーム



### 2. 2回シリーズ ブランド&デザインセミナー

#### 「第1回 企業経営、事業活動に欠かせないデザインマネジメントとブランド構築」開催

企業経営、事業活動に欠かせないブランド戦略やデザインマネジメント、意匠権や商標権の戦略的な保護・活用について学ぶ2回シリーズのセミナーが開催されます。

「第1回は、新商品開発プロセスや新たな販路開拓等において、デザインマネジメントやブランド構築の重要性・有効性について、意匠権や商標権をはじめとする知的財産の戦力的活用を行い新商品開発や異分野の進出を図った事例紹介を交えて学んでいただきます。

中小企業の知的財産の活用を支援している専門家による講義とワークショップとを織り交ぜた実践的な内容となっておりますので、ご関心のある方は是非ご参加ください。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。

開催日時： 2020年2月12日(水) 14:00～16:30  
開催場所： ウィンクあいち  
愛知県産業労働センター1307号室  
名古屋市中村区名駅4-4-38  
定員： 30名  
参加費： 無料  
主催： 経済産業省中部経済産業局  
問合せ： セミナー事務局 (株)ダン計画研究所内  
TEL:06-6944-1173

2回シリーズ  
**ブランド&デザインセミナー**

第1回 企業経営、事業活動に欠かせない  
デザインマネジメントとブランド構築

とき 2020年2月12日(水) 14:00～16:30 参加費無料  
定員30名

ところ ウィンクあいち 愛知県産業労働センター1307号室  
名古屋市中村区名駅4-4-38 (名古屋駅から徒歩5分)

企業経営、事業活動に欠かせないブランド戦略やデザインマネジメント、意匠権や商標権の戦略的な保護・活用について学ぶ2回シリーズのセミナーを開催します。

第1回は、新商品開発プロセスや新たな販路開拓等において、デザインマネジメントやブランド構築の重要性、有効性について、意匠権や商標権をはじめとする知的財産の戦力的活用を行い新商品開発や異分野の進出を図った事例紹介を交えて学んでいただきます。

中小企業の知的財産の活用を支援している専門家による講義とワークショップとを織り交ぜた実践的な内容となっておりますので、ご関心のある方は是非ご参加ください。

プログラム

第1回 「企業経営、事業活動に欠かせない  
デザインマネジメントとブランド構築」

デザインを活かした製品・サービスの事例、企業や地域におけるブランディングの戦略的役割を紹介し、デザインマネジメントとブランド構築の手法やポイントについて解説します。

講師 大阪工業大学大学院 経営学専攻 教授 山田 繁和氏  
愛知教育大学卒業後、1990年当時資行人、豊田副都庁副都庁長、東海第1地区(近畿)産業局長を経て、2017年4月より特許庁を専任機関に異動。現職、同大学において、日本企業におけるデザイン戦略の醸成と意匠権の活用、米国・中国・韓国・欧州・WTO・ASEANの公正競争と知的財産の活用について研究している。

ワークショップ 「デザイン戦略の立案、ブランドの保護・構築のポイントについて」

グループに分かれて、仮想事例を通じてブランド構築プロセスを検討し、自社におけるブランディングの課題や悩みに関するディスカッションを行います。

第2回 「商品開発・ブランディングを無駄にしない特許・意匠・商標のポイント」は3月4日(水)の開催予定です。  
講師： AIGIグループあいち特許事務所 弁護士 廣田英祐氏

第2回「商品開発・ブランディングを無駄にしない特許・意匠・商標のポイント」は3月4日(水)の開催予定です。

## ◎ 美術館情報

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております】

### 1. 瀬戸染付工芸館【愛知・瀬戸】

(<http://www.seto-cul.jp/sometsuke/kikaku/index.html>)

1月5日(日)～5月11日(月)

企画展：瀬戸染付工芸館 開館 20 周年プレ企画展 「瀬戸市収蔵染付展」  
瀬戸染付工芸館は 2020 年 4 月に開館 20 周年を迎えます。それを記念し、瀬戸市が収蔵する瀬戸染付の中から名品を選び、その美と技を紹介します。



### 2. 多治見市モザイクタイルミュージアム【岐阜・多治見】

(<https://www.mosaic-tile-museum.jp/>)

1月25日(土)～5月10日(日)

企画展：世界のモザイク・今

モザイクタイルミュージアムでは、「モザイク会議」のご協力を得て、ヨーロッパの先鋭的なモザイク作家とともに、「モザイク展 2019」における受賞作品や参考作品等を紹介することになりました。世界に視野を向けると、石やガラス、やきもの等、様々な素材を用いたモザイクアートの作品が、古代から連綿と作り続けられています。現在でもヨーロッパを中心に、個性的なモザイク作家が多数活躍していますが、その最先端の作品を日本で目にする機会は多くありません。一方、国内のモザイク作家は、「モザイク会議」を設立し、2年に1度のコンクール「モザイク展」や講習会等を通して、モザイクアートの普及と発展を目指してきました。タイルだけではない、多様なモザイクアートの表現をご高覧下さい。



### 3. 大阪市立東洋陶磁美術館【大阪・中之島】 (<http://www.moco.or.jp/exhibition/current/?e=559>)

2019年12月21日(土)～4月12日(日)

特集展：「受贈記念 木村盛康・天目のきらめき」



木村盛康氏は 1935 年に京都五条坂に生まれました。父は京焼の画工・木村繁(1895～1971)氏で、長兄・盛和(1921～2015)氏と三兄・盛伸(1932～)氏はいずれも陶芸家という陶芸一家に育ちました。盛康氏は天目の陶芸家として知られていますが、そのきっかけは高校の陶芸科を卒業後して間もない頃に出会った当館所蔵の国宝「油滴天目茶碗」であったといいます。そして京都工芸指導所にて陶芸の基礎を習得した後、長兄盛和氏に師事して、天目作家への道を歩み始めました。以来 60 年余り、独自の色調・釉調の天目を創作し、その作品は国内外の多くの美術館にも所蔵されています。盛康氏は 84 歳になった今も日々新たな挑戦を続けており、天目に文字通りその生涯を捧げています。このたび京都在住の個人様(匿名)より木村盛康氏の天目作品 25 点をご寄贈いただいたのを記念し、本展を開催します。宇宙や自然、生命を感じさせる独自の天目作品の「きらめき」をご堪能いただければ幸いです。